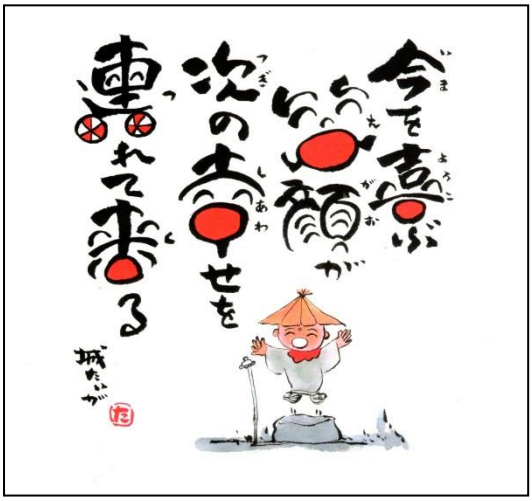
S・Sみらい新聞

第 34 号
2016 年 6 月
発行責任者
新津　尚

あじさい寺に行って来ました

６月は、毎年アジサイを観に妙法寺に伺います。今年も希望者を募り、行って来ました。お祭りの１日前でしたが、とてもきれいなアジサイを観ることができました。

「ちょうど、外の空気が吸いたかったので、いいところに連れてきてくれてありがとう！」と、ご利用者の方々も大変喜んでおられました。来年も観に行きたいですね。



あるご利用者様の改善

介護度４で、車いす、認知もある方が、昨年 11 月に入所してこられました。

この６月でショートステイみらいを出られて、在宅復帰をされるまでになりました。今では、認知もなく、押し車で歩けるようになり、家の中を段差なく改修をして手すりを付けて、普通の生活に戻れるようになりました。これから家での生活が始まりますが、転ばないよう気を付けて生活して頂きたいと思います。

「ショートステイみらい」を作る大きな理由に、「施設で介護される人を改善して在宅復帰して頂く。それにより、日本の介護費用を少しでも減らしていきたい」という願いがあります。

今までにも、在宅復帰されてきた方々がいますが、こういうご利用者様をもっともっと増やしていけるよう今後も努力していきたいと思います。

ショートステイみらいでは、ハード面に「生体エネルギー工法」を取り入れ、建物、電気、水、空間を人間の持つ生体のエネルギーを良い方向に改善する工法で造られています。また、人間の細胞を構成するのに必要な栄養素を考えた「栄養素療法」を取り入れて、身体の体質改善や脳細胞を再生して行けるような、細胞矯正医学、分子栄養学に基づいた「栄養素療法」を日々の生活の中に取り入れています。

職員（看護師）紹介

看護師の望月美香子です。4 月よりSSみらいで働いています。SSみらいの基本方針にある「ほのぼのとした暖かさを感じて頂く…」ことを日々考えて、ご利用者様と接していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いします。